

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 6 号	氏名	大脇 裕一
学位審査委員	主 査 中島 憲一郎 副 査 佐々木 均 副 査 塚元 和弘		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、近年、抗血小板作用が注目され血栓性疾患の予防や治療に使用されている低用量アスピリンが、消化管傷害などの副作用を引き起こす可能性について医療情報解析学的側面から解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法 メタアナリシスおよび薬剤疫学手法により解析したもので、この種の研究成果に影響を与える種々の標本選択バイアスを可能な限り除外するようにデザインしてあり、統計学的解析法も妥当な手法を用いてある。また、適正使用を図るための定量法としての HPLC 法開発も妥当な手法である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、低容量アスピリンにより有意に心筋梗塞発症頻度が減少することや、消化管出血のリスクが増加することを明らかにした。また、長期間服用により消化管傷害のリスクが増大する可能性を使用状況から明らかにした。さらに、開発した低用量アスピリンの HPLC 定量法が適正使用に十分応用可能なものであることを示した。これらの結果は、今後の低用量アスピリンの適正使用の進展に大いに寄与するものと期待される。</p> <p>以上のように本論文は臨床薬学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（臨床薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと